

2015年1月26日

～保活コンシェルジュ&ワーキングママ支援プログラム～
産育休取得社員の職場復帰を支援する新制度を開始

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：柄澤 康喜）は、1月から、産育休取得社員の職場復帰を支援する2つの新制度を開始しました。

当社では、毎年200名を超える社員が育休を取得していますが、「計画したスケジュール通りに職場復帰ができるよう支援してほしい」との声が年々高まっていることを受けて、保育園入園のための活動（通称：保活）を支援する「保活コンシェルジュ」の導入を決定しました。また、産育休取得前・中・後の3段階で行う「ワーキングママ支援プログラム」を通じて、職場とのコミュニケーションを図るとともに、業務知識やスキルの維持・向上を支援することでよりスムーズな職場復帰に繋げていきます。

三井住友海上は、今後も、すべての社員がいきいきと働くための環境づくりを進め、企業価値向上と持続的成長の実現に取り組んでいきます。

1. 「保活コンシェルジュ」について

- (1) 開始時期：2015年1月
- (2) 対象社員：2015年4月以降に育休から復職する予定の女性社員
- (3) 提携先：株式会社ベネフィット・ワン
- (4) 概要：提携先のオペレーターが対象社員に電話で連絡し、保活の状況を確認します。また、希望者には希望エリアでの認可・認証・無認可保育園の情報等（空き状況含む）を提供します。

<連絡の内容>

①復帰6ヶ月前コール	・ 予定している預け先と活動内容の確認 ・ 保育園の情報提供
②復帰3ヶ月前コール	（空き状況、自宅または駅からの所要時間、営業時間、保育料など） ・ 入園できなかった場合の対応の説明

※上記期間に限らず、対象社員は保育園情報の提供を随時依頼することができます。

（ご参考）育休取得社員数の推移

2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
137人	183人	220人	239人	237人	239人

※2014年度は2014年12月時点の見込み人数

2. 「ワーキングママ支援プログラム」について

- (1) 目的：産育休中における業務知識やスキルの維持・向上を支援することで、よりスムーズな職場復帰に繋がります。また、継続的に職場とのコミュニケーションを図ることで、復職後の職場の受け入れ態勢を整えます。
- (2) 特長：
 - ①3段階のプログラム
産育休取得前・中・後の3段階で行うプログラムを用意しました。各段階に合わせて最適なツールを提供するとともに、復職に向けた計画の策定を支援します。
 - ②職場とのコミュニケーションを促進
各段階で必ず上司とのコミュニケーションの機会を設け、復職に向けたスケジュールや今後の働き方等を共有します。
 - ③業務知識の維持・向上を支援
複数のeラーニングメニューのほか、モバイル端末を活用した社員向けコンテンツも提供しており、社員は自身の都合に合わせていつでも学習することができます。

<実施時期と主な内容>

実施時期	項目	プログラムの内容
産休取得前	・ 自己学習 (専用DVDなど)	・ 産育休に向けた心構え ・ 保活についてのアドバイス ・ 産育休中の自己啓発計画の策定
	・ 上司面談	・ 産育休中の過ごし方や復職予定の共有
産育休取得中	・ 自己学習 (PC/モバイル端末など)	・ 業務知識やスキルの維持および向上 (eラーニング約130講座を受講可) ・ 会社の動向を確認(※)
	・ 上司とのコミュニケーション	・ 上司との定期的な連絡や面談 ・ 復職予定の報告と相談
産育休取得(復職)後	・ 上司面談	・ 復職後の目標のすり合わせ ・ 育児と仕事の両立に向けた働き方の共有
	・ ママグループ討議 (Web会議システム)	・ 4名程度のグループでの意見交換

※保険商品の内容や最新の施策等の情報を動画視聴できる環境も提供しています。

以上